

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 (心理学)	氏名	入 江 慶 太
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論 文 題 目			
病棟保育士における職務の専門性の認識に関する研究			
論文審査担当者			
主 査	教 授	湯 澤 正 通	
審査委員	教 授	中 條 和 光	
審査委員	教 授	杉 村 伸一郎	
審査委員	教 授	森 田 愛 子	
〔論文審査の要旨〕			
<p>本論文は、小児病棟に勤務する保育士、すなわち病棟保育士を対象として、職務の専門性の認識を検討したものである。病棟保育士は、疾患等により入院する幼児を対象に保育を行うという業務の特殊性のため、通常の保育士とは異なる専門性が求められるが、小児病棟で働く保育士に焦点を当てた専門性研究は数少なかった。なお、本論文では、専門性を「特定分野において求められる高度な知識や経験、技術」と定義し、病棟保育士自身が認識している専門性に焦点を当てた。</p> <p>論文の構成は、次のとおりである。</p> <p>第1章では、第1節で病棟保育士の専門性に関する先行研究を展望し、第2節でその問題点を指摘した。日本における病棟保育士の専門性研究は、(1) 病棟保育士自身の実践記録から専門性を明らかにした研究、(2) 病棟保育士に専門性に関するアンケート調査を行い、その結果を集計した研究、(3) 病棟保育士に専門性に関するインタビューを行い、その内容を分析した研究、があった。しかし、それらは、特定の病棟保育士に焦点を当てた質的研究や少人数を対象にした量的研究にとどまっており、病棟保育士の専門性が定まっていないことを第1の問題点として指摘した。また、病棟保育士の属性を分類した専門性研究がなされていないことを第2の問題点として指摘した。病棟保育士には、「保育士」の国家資格に加えて、日本医療保育学会の認定する医療保育専門士、HPS (Hospital Play Specialist) といった認定資格を持つ者と、認定資格を持たない者に分類することができる。第3節では、本論文の目的として、2点を挙げた。(1) これまでの病棟保育士の専門性に関連する量的研究、質的研究、自由記述から、病棟保育士の専門性項目を同定すること。(2) 勤務年数等の属性による比較、認定資格を持つ病棟保育士との比較を通して、認定資格を持たない病棟保育士における専門性の認識の特徴を明らかにすること。</p> <p>第2章では、病棟保育士の専門性を示す項目を選定した。第1節では、CiNiiで検索した2002～2020年の論文59本から、病棟保育士の専門性に関する項目を抽出し、集約した。第2節では、「保育を行う上で重視すること」に関する病棟保育士73名の自由記述をテキストマイニングによって分析した。これらの集約、分析の結果、「子どもに関わる姿勢」、「医療的知識・技術」、「他職種連携」、「発達支援」、「生活支援」、「専門職としての責務」</p>			

の6カテゴリの48専門項目を同定した。

第3章では、第2章で同定した専門性の6カテゴリ48項目を用いて、認定資格を持たない病棟保育士を対象に職務の専門性の認識の特徴を明らかにした。その結果、認定資格を持たない病棟保育士は、6カテゴリのうち、「子どもに関わる姿勢」を最も重視し、「医療的知識・技術」、「他職種連携」と「発達支援」、「生活支援」と続き、「専門職としての責務」の重視度が最も低かった。また、それらの重視度に病棟保育の経験年数は影響せず、正規職員と臨時職員の違いを検討したところ、臨時職員よりも正規職員の方が「専門職としての責務」を重視していた。

第4章では、医療保育専門士、またはHPSの認定資格を持つ病棟保育士と、持たない病棟保育士について、職務の専門性の認識を比較し、それぞれの特徴を明らかにした。6カテゴリについての重要度の違いを分析した結果、「医療的知識・技術」「他職種連携」「専門職としての責務」において、認定資格を持つ病棟保育士の重視度がより高かった。また、48の専門性項目ごとに、重視度を比較した。その結果、13項目で差が見られ、特に、「子どもにプレパレーションを行う」などの「医療的知識・技術」に関する項目において、3者の重視度に違いがあった。

第5章では、本論文の成果をまとめ、今後の課題を挙げた。

本論文は、次の4点で高く評価できる。

1. 従来、研究がほとんど行われてこなかった病棟保育士に焦点を当て、小児病棟の設置を届けている日本全国354病院にアンケートを郵送することで、315名の病棟保育士のデータを収集し、多くのデータに基づいた分析を行った。
2. 文献研究とアンケートの記述の分析に基づいて、6カテゴリ48項目を選出し、病棟保育士の専門性を評価するためのアンケートを作成した。
3. 病棟保育士のうち、約80%は、医療保育専門士やHPSの認定資格を持たず、病棟保育士は、経験年数や雇用形態の違い、認定資格の有無にかかわらず、子どもを理解し、安心感や自信を与えるといった「子どもに関わる姿勢」を最も重視していることを示した。
4. 医療保育専門士やHPSの認定資格を持つ病棟保育士は、持たない病棟保育士よりも、病棟特有の専門性である「医療的知識・技術」「他職種連携」「専門職としての責務」を重視していることを示した。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（心理学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

令和 5年 2月16日